

令和 7 年 4 月 14 日

清瀬市議会議長 殿

会 派 名 共 に 生 活
代表者名 ふ、也 由 女
(署名又は記名押印)

令和 6 年度政務活動費収支報告について

清瀬市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、
別紙のとおり令和 6 年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和 6 年度政務活動費収支報告書

会 派 名 共に生きる

1 収 入

政務活動費 120,000 円

2 支 出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費		
広 報 費	158,461	4/号 79231 42号 79230
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		

3 残 額 0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

(参 考)

清瀬市議会政務活動費収入支出整理簿

会 派 名	矢野 圭子
經理責任者氏名	矢野 圭子

令和 6 年度

單位：円

[illegible]

令和 7 年 4 月 14 日

清瀬市議会議長 様

会 派 名 共に生きる
氏 名 ふじやま

政務活動報告書（広報紙）

清瀬市議会政務活動費により支出した（広報紙）について、政務活動費運用ガイドラインの規定に基づき報告いたします。

- 1 広報紙等の名称 ゆめ通信 41号
- 2 発行日 令和 6 年 12 月 07 日
- 3 発行部数 12,000 部
- 4 委託先名 フジアール（※領収書と一致）
（広報紙印刷、配布、HPの作成・更新など）
- 5 経 費 79,231 円（※収支報告書と一致）
内訳
 - (1) 印刷製本費 79,231 円
 - (2) 会場費 円
 - (3) 通信運搬費 円
 - (4) 旅費 円
 - (5) 業務委託費 円
 - (6) 備品購入費 円
- 6 その他
広報紙等の成果物（1部）を添付

※収支報告書提出時に添付すること。

領収書



ふせ由女 様

取引年月日：2024年12月07日(土)

下記正に領収いたしました。

領収書番号：R-241204144610

合計金額 (税込) 79,231円

ラクスル株式会社

10%対象 79,231円 (内消費税: 7,203円)

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F

登録番号：T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
241204144610-01	チラシ・フライヤー / A3 / 片面カラー・片面モノクロ / 光沢紙(コート) / 標準：90kg / 折り加工：2つ折り(センター折り)	12,000部	71,568円	出荷予定日：2024年12月11日

「*」は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 71,568円 データチェックお急ぎ便: 460円
小計 (税抜)	72,028円
合計金額 (税込)	79,231円

お支払い方法: クレジットカード

お客さまへ (必ずご確認ください)

本書面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム (<https://raksul.com/contact/>) からご連絡ください。

令和 7 年 4 月 14 日

清瀬市議会議長 様

会 派 名 共に生きる
氏 名 ふじもと 由女

政務活動報告書（広報紙）

清瀬市議会政務活動費により支出した（広報紙）について、政務活動費運用ガイドラインの規定に基づき報告いたします。

- 1 広報紙等の名称 ゆめ通信 42号
- 2 発行日 令和 7 年 2 月 13 日
- 3 発行部数 12000 部
- 4 委託先名 フクシル（※領収書と一致）
（広報紙印刷、配布、HPの作成・更新など）
- 5 経 費 79230 円（※収支報告書と一致）
内訳
 - (1) 印刷製本費 79230 円
 - (2) 会場費 円
 - (3) 通信運搬費 円
 - (4) 旅費 円
 - (5) 業務委託費 円
 - (6) 備品購入費 円
- 6 その他
広報紙等の成果物（1部）を添付

※収支報告書提出時に添付すること。

領収書



ふせ由女 様

取引年月日：2025年02月13日(木)

下記正に領収いたしました。

領収書番号：R-250209682277

合計金額 (税込) 79,230円

ラクスル株式会社

10%対象 79,230円 (内消費税: 7,202円)

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F

登録番号：T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
250209682277-01	チラシ・フライヤー / A3 / 片面カラー・片面モノクロ / 光沢紙(コート) / 標準：90kg / 折り加工: 2つ折り(センター折り)	12,000部	71,568円	出荷予定日: 2025年2月16日

「*」は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 71,568円 データチェックお急ぎ便: 460円
小計 (税抜)	72,028円
合計金額 (税込)	79,230円

お支払い方法: クレジットカード

お客さまへ (必ずご確認ください)

本書面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム (<https://raksul.com/contact/>) からご連絡ください。



清瀬市議会議員（無所属）
ひとり会派「共に生きる」

発行

ふせ由女 (FUSE Yume)

清瀬市暮らしと平和の会

〒204-0002 清瀬市旭が丘 2-1-5-108

〒204-0012 清瀬市中清戸 3-213-7

Tel: 090-9969-7655

Tel & Fax: 042-493-2982

HP: http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fuse_yume/E-mail: fuseyume@krc.biglobe.ne.jp

◆ ◆ ◆ 議会レポート ◆ ◆ ◆

8月30日～9月26日に9月議会が開かれ、3日～5日の一般質問では、主に以下のような質問をしました。

問 交流のある自治体（給食用にホタテを無償提供してくださった北海道森町、稲作体験を実施している新潟県南魚沼市、食育や復興支援のために海産物が給食食材として使用された石川県など）との発展的関係を築き、友好交流都市や災害時相互応援の協定の締結をめざしてはいかがでしょうか。また、立科山荘の閉鎖後も、立科町とは友好交流関係は続くのでしょうか。

答 現時点では考えていないが、市民レベルでの交流の深度を踏まえ検討していきたい。立科町との協定は継続し、観光協会を軸にして、特産品を活用した加工品の創出などの新たな連携による交流を期待する。

自治体の協力関係や相互支援の構築・強化といった市民生活上の利点も視野に入れた、協定締結の推進を求めます。また、古くからの交流拠点であった立科山荘の閉鎖は、教育的側面なども含めた“市民の多面的な交流の機会”の喪失でもあることを重く受け止める必要があります。交流は産業的側面に限りません。

問 今年の暑さは、高齢者にとって過酷であったはずです。熱中症を発症された高齢者は、どれほどいらっしゃいますでしょうか。また、エアコンのない高齢者の住宅を、市は把握しているのでしょうか。高齢者本人が助けを求めたり、市が安否を確認したりする体制、年々厳しくなる酷暑への対策は整っているのでしょうか。

答 救急搬送された人は、8月19日までに41人（そのうち、高齢者は28人）を数える。エアコンについては、把握していない。地域包括支援センターが相談を受け、民生委員が近隣住民から情報収集して訪問している。民間事業者などと、見守り活動に関する協定を結んでいる。市内に「ひと涼みスポット」を開設した。

エアコン設置の確認や補助など、高齢者に特化した施策が急務です。そして、近隣住民や民間事業者に頼らず、市が責任をもって率先して取り組む体制が求められます。

問 これまで、『図書館ニュース』は発行されたことがありますか。こういったものを通じて、図書館の活動とともに「図書館の削減」についても知らせることができたのではないのでしょうか。現時点で

も、削減について知らない市民がいますが、どうお考えでしょうか。

答 『図書館ニュース』は発行していないが、様々な取り組みを通して図書館サービスを伝えている。

市民の重大な関心事であるはずの「図書館の削減」の周知に関しては、回答がありませんでした。

問 今からでも『図書館ニュース』を発行し、市と図書館のHP（ホームページ）や各種の掲示板に掲載して、市民の知る権利に基づいて通知してはいかがでしょうか。また、図書館のHPの中の「お知らせの欄」にさえ、削減の通知がないことについても伺います。

答 発行は考えていない。今ある媒体を充実させ活用しながら広報に努めていく。

またしても、削減の通知に関する回答はありませんでした。

問 創立50周年を迎える中央図書館に関して、記念の催し物は企画されているのでしょうか。また、市報などで、何らかの記事は掲載されたのでしょうか。

答 現時点では、イベントの開催は考えていない。

50周年については、少なくとも市のHPでは知らせるべきです。歴代および現在の職員を称える意味でもそうです。40周年では、市報で大きく特集されました。市民の希望に応え“本市第1号の図書館”として開館した中央図書館は移設され、小規模化され、名前も変更されます。民間のHPには、沿革の説明や役割の評価を含む、中央図書館の基本情報を伝えるものがある一方で、市や図書館のHPにはそのような情報はないようです。清瀬の歴史・文化・知性に対する軽視が垣間見え、市民の一人として、悲しい気持ちになります。

◆ ◆ ◆ 活動日誌 ◆ ◆ ◆

8/2.....臨時議会（市議会）

8/3.....反核平和行動in 亀戸 [+8/9 in 神保町]

8/4.....『夢みる校長先生』上映会&アフタートーク

8/6.....ひまわりフェスティバル

8/8.....河川改修研修会（市議会）

8/16.....議会運営委員会 [+10/28]、各会派代表者会議（市議会）

8/19.....反原発自治体議員・市民連盟の運営委員会 [+9/21]

8/23.....教育委員会（教科書採択）の傍聴

9/27.....旭が丘団地自治会の役員会 [+10/25]

10/1.....市民表彰式典

10/15.....通報訓練（旭が丘団地自治会）

10/16.....東白川中学校の交流会

10/18.....敬老・芸能大会（けやきホール）

10/20.....総合防災訓練（第五中学校、東京病院）

10/26.....清明小の運動会

10/27.....きよせ市民まつり



小金井市議の高木章成さん
講師の遠藤良子さんと
【中面】三多摩議員ネットの夏合宿



清瀬市議会議員(無所属)
ひとり会派「共に生きる」

発行 fuse由女(FUSE Yume) 清瀬・くらしと平和の会
〒204-0002 清瀬市旭が丘 2-1-5-108 〒204-0012 清瀬市中清戸 3-213-7
Tel: 090-9969-7655 Tel & Fax: 042-493-2982
HP: http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fuse_yume/ E-mail: fuseyume@krc.biglobe.ne.jp

◆ ◆ ◆ 議会レポート ◆ ◆ ◆

昨年12月2～19日に12月議会が開かれ、3～4日の一般質問では、主に以下のような質問をしました。

1995年度当初374本植栽されていた「けやき通り」の櫓は約365本(2009年度)、約289本(2019年度)、約190本(2023年度)にまで伐採されました。『けやき通りグランドデザイン』では、計画本数が165本となっていて減少傾向は止まりません。また、この街路樹をめぐっては剪定の仕方があまりにも強く、樹木の無残で気の毒な姿を目にします。こうした事情を憂慮して、本市の街路樹の状況に関して質問をしました。

問 樹木の伐採は、どのような計画・管理の下で実施していますか。また現在、「強剪定」(太い枝を根元から深く切ったり枝や芽を切り落としたりするような、樹木に過度な負担を強いる剪定方法)が行われていますが、問題ないでしょうか。剪定に関わる専門家の意見が取り入れられているかどうか、心配になります。

答 伐採に関して具体的な計画を設けていない。剪定については、職員が目視で確認し造園業者等に相談している。けやき通りでは、落枝や倒木の被害を考慮し、枝張りの少ないムサシノケヤキの植栽を計画している。

安全な仕方で景観の形成やヒートアイランドの抑制といった街路樹の効果にも配慮していくことは可能であり、剪定方法も考慮した新たな『グランドデザイン』を模索すべきです。府中市、立川市、多摩市などの「市独自のガイドライン」のような先進的な事例も参考にしながら、委託し丸投げするのではなく、市が責任をもって専門家に意見を求め、「自治体としての自立した見解」を提示すべきです。くわえて、剪定を下請けにしないで、市の職員として正式に雇用することも視野に入れて取り組み、街路樹政策を多面的なプロジェクトとして位置づけていくことも提案しています。

問 『グランドデザイン』では街路樹を「循環型資源」と位置づけ「緑のリサイクル」に利用する仕組みづくりを示しています。落ち葉を資源に活用し堆肥化する計画と併せて推進してはどうでしょうか。

答 現時点では、落ち葉はリサイクル業者に搬入して堆肥化している。

「落ち葉を活かすプロジェクト」を立ち上げ、市主導で堆肥をつくり市民に配布することで、有機農業の普及、

さらには、新たな雇用創出にもつながり、多角的な波及効果が期待できます。落ち葉の堆積場の設置やその具体化のための条例化についても検討していくことが将来的に有用です。学校などの教育現場でも環境教育の一環として位置づけながら、多面的なプロジェクトとして取り組まれるべきだと考えています。

問 「住民の人数」や「住まいと図書館との距離」などを考慮に入れて、『図書館サービス基本方針』を進めているのでしょうか。例えば、図書館へのアクセスのよさの観点から、元町と松山の住民が優遇されることになると考えられます。

答 生活様式の変化や技術革新、コロナ禍の経験等をもとに、駅から離れていて公共交通の不便な住民や、中学卒業後～就労世代の市民に比較的に利用されていないこと等を考慮に入れてきた。宅配サービスとサロンにより、一部の地域の住民が優遇されることはない。

たしかに、無料の宅配サービスによって、「貸し出しサービス」の点での格差は、ある程度、解消されるかもしれませんが、実際に本を手にとったり多数の本を参照したりしながら資料を調べ探すこと、また、そうしたことを司書さんや職員さんに手助けしてもらうこと、そして、本や読書を通じて生身の人間が相互に交流すること(読書交流会などのイベントへの参加)などを含む、図書館固有の幅広いサービスは、「図書の宅配」や「サロンの設置」や「人工知能(AI)の活用」だけでは補えません。総合文化的である物理的な場所が、市民にとって必要です。そして、そういったサービスから遠ざかる住民が実際に出てきます。図書館4館の閉館に伴うこのような地域間格差は、見過ごせません。格差は差別につながります。だからこそ、とりわけ図書館から最も遠ざけられる住民たちが愛用してきた下宿図書館は、残すべきです。

◆ ◆ ◆ 活動日誌 ◆ ◆ ◆



福田縁写真展
「祈りの彫刻——リーメンシュナイターと同時代の作家たち」にて(11/5)

- 11/1 自衛消防訓練審査会
- 11/2 清瀬市民文化祭
- 11/3 旭が丘団地フェスティバル
- 11/4 棟委員会(旭が丘団地自治会)[+11/12]
- 11/10 ... 多摩自治協の統一行動
- 11/14, 15 ... 建設環境常任委員会の視察(藤井寺市、京都市)
- 11/18 議会運営委員会(市議会)
- 11/22 多摩北部5市美術展
- 12/2 各会派代表者会議(市議会)
- 12/18 駐車場申込の受付(旭が丘団地自治会)
- 12/20 役員会(旭が丘団地自治会)
- 1/8 元氣塾(旭が丘団地自治会)